

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教 科： 公民 科 目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 清水書院「私たちの公共」 浜島書店「最新図説 公共」 ）

教科 公民 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標： 人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	公共的な空間における基本原理 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 「新型コロナウイルス問題」「候補者男女均等法」を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、公共的な空間における基本的原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、構想できるようにする。	・個人の尊重と社会 ・民主主義、立憲主義 ・法はなぜ必要なのか ・社会のルールについて考えよう！ ・「候補者男女均等法」の是非について「平等」の視点から考察する ・教科書 ・資料集 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 「新型コロナウイルス問題」「候補者男女均等法」を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、公共的な空間における基本的原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、構想している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	私たちの生活と法 【知識及び技能】 日本国憲法と大日本帝国憲法との比較から相違点を考える。また日本国憲法の三大原則を理解する。 具体的な事例を通して、日本国憲法の基本的な権利のうち、平等権と自由権について理解する。 具体的な事例を通して、日本国憲法の基本的な権利のうち、自由権と社会権の違いについて理解する。 日本国憲法の基本的な権利のうち、「新しい人権」について理解する。また、個人情報保護に係わって、資料を読み取って、情報モラルと情報リテラシーを高めることの重要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「消費者の権利と義務」について、具体的な事例を通して、多様な契約の存在や、契約の意義やリスクについて多面的・多角的に考察、表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事例を通して、法や規範の意義及び役割について理解できるようにする。	・個人と法 ・消費者の権利と義務 ・日本国憲法の成立と基本原理 ・日本国憲法 ・平等に生きる権利 ・自由に生きる権利 ・人間らしく生きる権利 ・日本国憲法の人権保障 ・新しい人権 ・個人情報保護と情報リテラシー ・教科書 ・資料集 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 法や規範の意義及び役割、大日本帝国憲法と日本国憲法との違い、日本国憲法の平等権、自由権、社会権、「新しい人権」、多様な契約及び消費者の権利と責任について理解している。 情報モラルと情報リテラシーの意義について理解している。 【思考・判断・表現】 「消費者の権利と義務」について、具体的な事例を通して、多様な契約の存在や、契約の意義やリスクについて多面的・多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に法的な分野の内容に関係する、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	16

	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	私たちの生活と政治 【知識及び技能】 日本の統治機構と世界の統治機構と比較し、私たちの権利や自由を守るためにどのように組織されているのかを理解する。 国会のしくみと働きについて理解する。 内閣のしくみと働きについて理解する。 日本の行政機関の特徴と行政権の拡大の問題点について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の統治機構と世界の統治機構と比較し、私たちの権利や自由を守るためにどのように組織されているのかを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の行政機関の特徴と行政権の拡大の問題点について理解、考察しようとしている。	・日本の統治機構 ・世界の統治機構 ・国会のしくみとはたらき ・内閣のしくみとはたらき ・行政機関としての国の役割と体制 ・教科書 ・資料集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 日本の統治機構や、日本の国会、内閣及び裁判所のしくみと働き、行政権の特徴と行政権の拡大の問題点について理解している。 【思考・判断・表現】 立法や行政が抱える課題について適切に情報を収集し、読み取って、課題の解決の在り方について多面的・多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に政治的分野について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
	私たちの生活と政治 【知識及び技能】 裁判所のしくみと働きについて理解する。 地方自治のしくみと意義や選挙のしくみと課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 司法権の独立の意義について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 現在住んでいる自治体が抱える課題について適切に情報を収集し、読み取って、課題の解決の在り方について考察、構想しようとしている。	・裁判所のしくみとはたらき ・地方自治の役割と現状 ・世界の選挙事情 ・選挙のしくみ ・政党と政治参加 ・民主政治の原理と世論 ・地域の課題を解決する取り組み ・教科書 ・資料集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 裁判所のしくみと働き、刑事裁判と民事裁判の違い、地方自治や選挙のしくみ、民主政治において、世論が果たす役割と課題について理解している。 【思考・判断・表現】 司法や自治体が抱える課題について適切に情報を収集し、読み取って、課題の解決の在り方について多面的・多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に政治的分野について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	平和主義と日本 【知識及び技能】 日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について意欲的に考察、表現しようとしている。	・日本の平和主義と憲法 ・日本の外交と平和な社会の構築 ・教科書 ・資料集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について理解している。 【思考・判断・表現】 日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について意欲的に考察、表現しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							78